

無料風しん抗体検査実施中！

風しんの怖さをご存知ですか？

風しんの感染力は非常に強いので、家庭や職場、通勤中などで、知らず知らずのうちに感染し、周囲の人にうつしてしまう（うつされてしまう）かもしれません。

妊娠初期の女性が感染すると、お腹の赤ちゃんに難聴や心疾患など、「先天性の病気（先天性風しん症候群）」を引き起こすおそれがあります。

風しん抗体検査を受けましょう！

風しんへの抵抗力(免疫)を確認するため、抗体検査を受けましょう。

国や県、保健所設置市では、無料の抗体検査を実施しています。

対象者や検査実施医療機関については、お住まいの市町村により異なりますので、詳しくは県のホームページやお住まいの市町村の風しん抗体検査担当窓口でご確認ください。

<国の風しんに関する追加的対策（原則無料）>

1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性は、原則無料で、風しんの抗体検査及び予防接種が受けられます。

順次、お住まいの市町村からクーポン券が送付されています。

<県や保健所設置市の風しん抗体検査（無料）>

妊娠を希望する女性や妊婦のパートナー等は、無料で、風しん抗体検査を受けられます。

他人事だと思っていないですか？

予防接種制度の変遷上、風しんの予防接種を受ける機会が少なく、風しんへの抵抗力が低い世代の方がいます。

県内では、30代から50代の男性及び20代の女性の風しん患者が多く発生しています。

あなたはワクチンを接種していますか？ 風しんワクチンの接種状況

1962年4月2日～1979年4月1日生まれ

男性は特に注意

中学校で集団接種が行われましたが、対象は女子のみでした。

1979年4月2日～1987年10月1日生まれ

男女とも要確認

学校での集団接種ではなく個別に医療機関に向いて受けることになったため、男女ともに接種率が激減しました。

1987年10月2日～1990年4月1日生まれ

男女とも要確認

幼児期に接種する機会があり、接種率は比較的高かったものの、受けていない人や1回の接種だけで抗体が不十分な人もいます。

	20代	30代	40代	50代
男性	個別接種 (2回)	幼児期接種に (1回)	中学生の時に 個別接種 (1回) ※幼児期に 複合ワクチン 接種の場合あり	一回も接種していない 1962年以前 生まれでは 自然感染などで 抗体保有率が ほぼ30%以上
女性	個別接種 (2回)	幼児期接種に (1回)	中学生の時に 集団接種 (1回)	一回も接種していない 1962年以前 生まれでは 自然感染などで 抗体保有率が ほぼ30%以上
	1962年 4月2日 生まれ	1979年 10月2日 生まれ	1979年 4月2日 生まれ	1962年 4月2日 生まれ

風しんは予防接種で防ぐことができます

風しん抗体検査の結果、抵抗力が低いと判定された方は、医師と相談の上、予防接種を検討してください。

県内市町村では、風しん予防接種費用の助成を行っています。

対象者や自己負担額については、お住まいの市町村により異なるため、県のホームページやお住まいの市町村の予防接種担当窓口でご確認ください。

問合せ先

神奈川県健康危機管理課 感染症対策グループ
電話 (045) 210-4791・4793

神奈川県 風しん

検索

